

第3部 めざすべき都市像

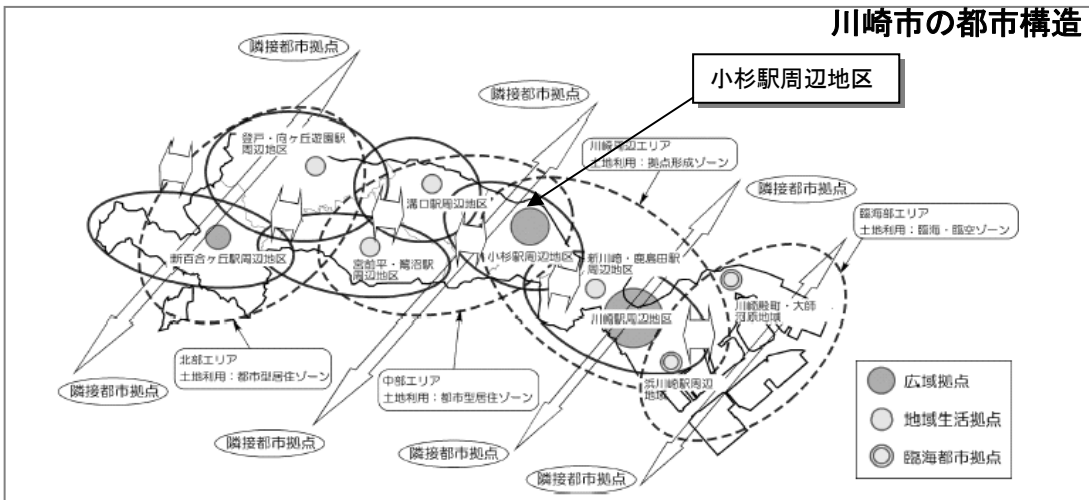
■1 まちづくりの基本方針

■小杉駅周辺地区の位置づけ

- 川崎市は「広域調和・地域連携型」の都市構造をめざしており、小杉駅周辺地区は川崎駅周辺地区、新百合ヶ丘駅周辺地区に並ぶ「広域拠点」として位置づけられます。
- 東京や横浜との近接性など立地特性を活かしながら、他の都市拠点との適切な機能分担を行い、民間活力を中心としたまちづくりの推進により、個性と魅力にあふれた広域的な拠点を形成します。

◆広域拠点としての役割

- 玄関口としての役割
 - － 中原区の交流拠点としての顔づくり
 - － 交通ターミナルとしての利便性の確保
- 都市拠点としての役割
 - － 都市機能の集積による広域的な拠点を形成
 - － 生活を支える拠点づくり
 - － 交通ネットワークづくり



■まちづくりの基本コンセプト

「交流」と「にぎわい」があふれるヒューマンなまちづくり

「歩いて楽しいまち」

- ・人の活動が見えるまち
- ・地元のまちとの連続性確保
- ・沿道型の商業空間

「環境共生型のまち」

- ・緑豊かな環境の実現
- ・環境負荷の軽減
- ・周辺自然的環境との調和

「豊かに暮らせるまち」

- ・多様な市民生活の実現
- ・新旧住民相互の融合
- ・エリアマネジメントの推進

まちづくりの基本方針

■まちづくりの基本方針

【特色ある拠点相互の連携による魅力あふれる広域拠点づくり】

- ・多様な核の集積とネットワーク化による魅力ある市街地形成
- ・既成市街地との連続性を確保するヒューマンなにぎわい空間の創出
- ・周辺市街地環境と協調した市街地形成と新しいにぎわい空間の創出

【小杉地域の特性を活かした持続可能なまちづくり】

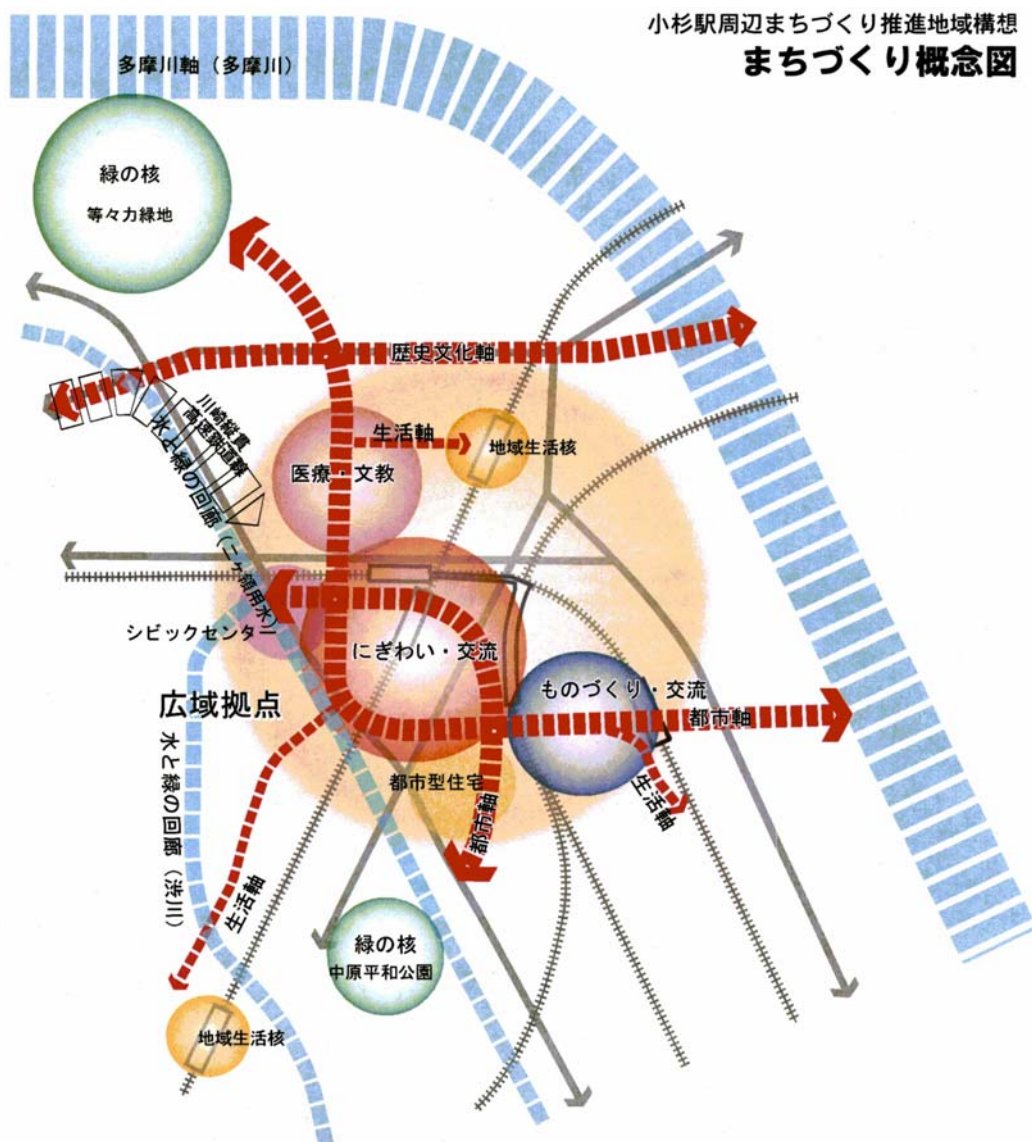
- ・充実した鉄道網を活かした歩いて暮らせるまちづくり
- ・駅を中心とした多様な都市機能のコンパクトな集積
- ・小杉地域の特性を踏まえた交通施策の推進

【周辺環境資源との連携による広がりのある都市空間づくり】

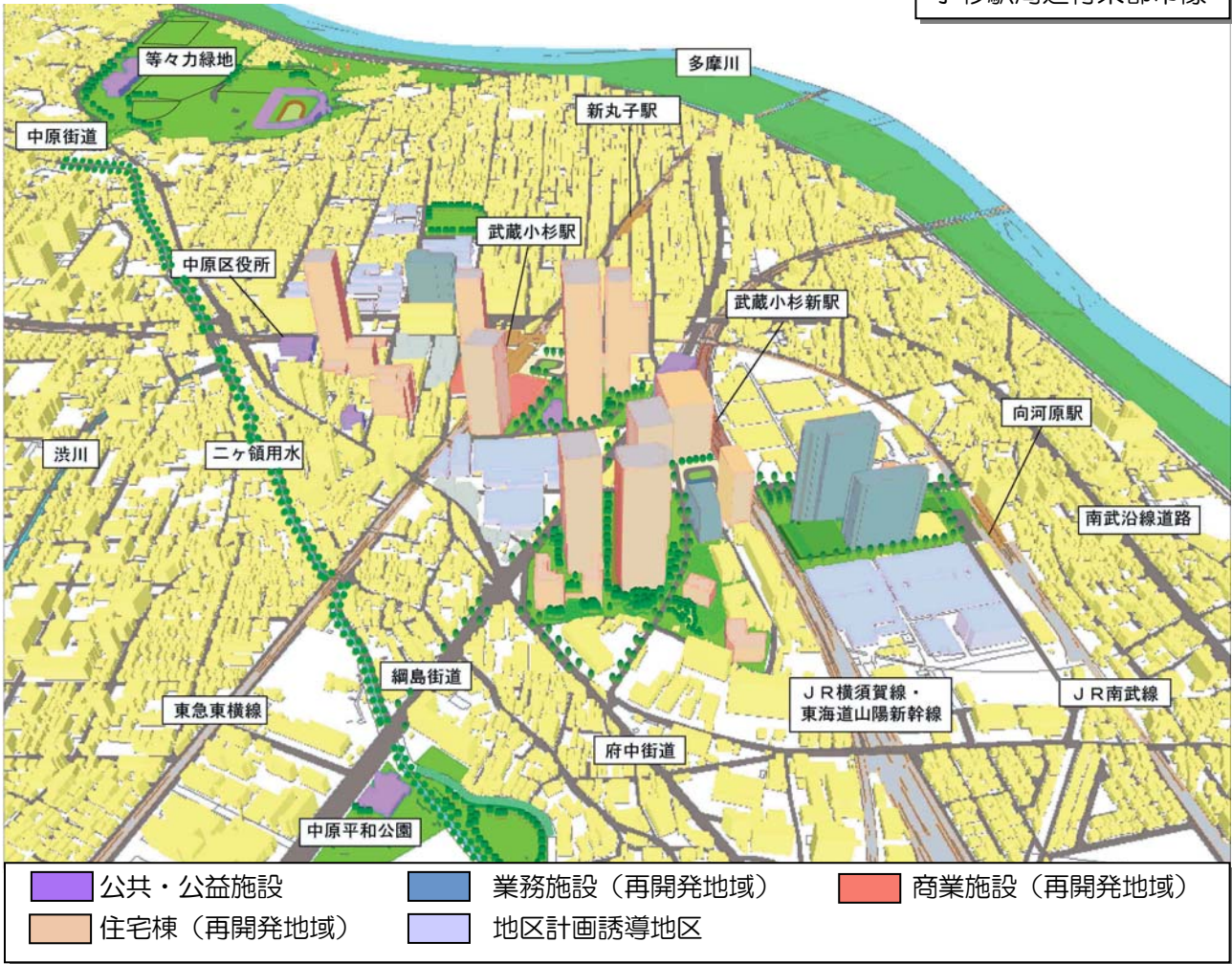
- ・等々力緑地や多摩川、ニヶ領用水とのネットワーク化によるアメニティの高い都市空間の形成
- ・緑豊かなパブリックスペースの実現
- ・環境と共生した開発計画、安全・安心のまちづくりの推進

【協働のまちづくり】

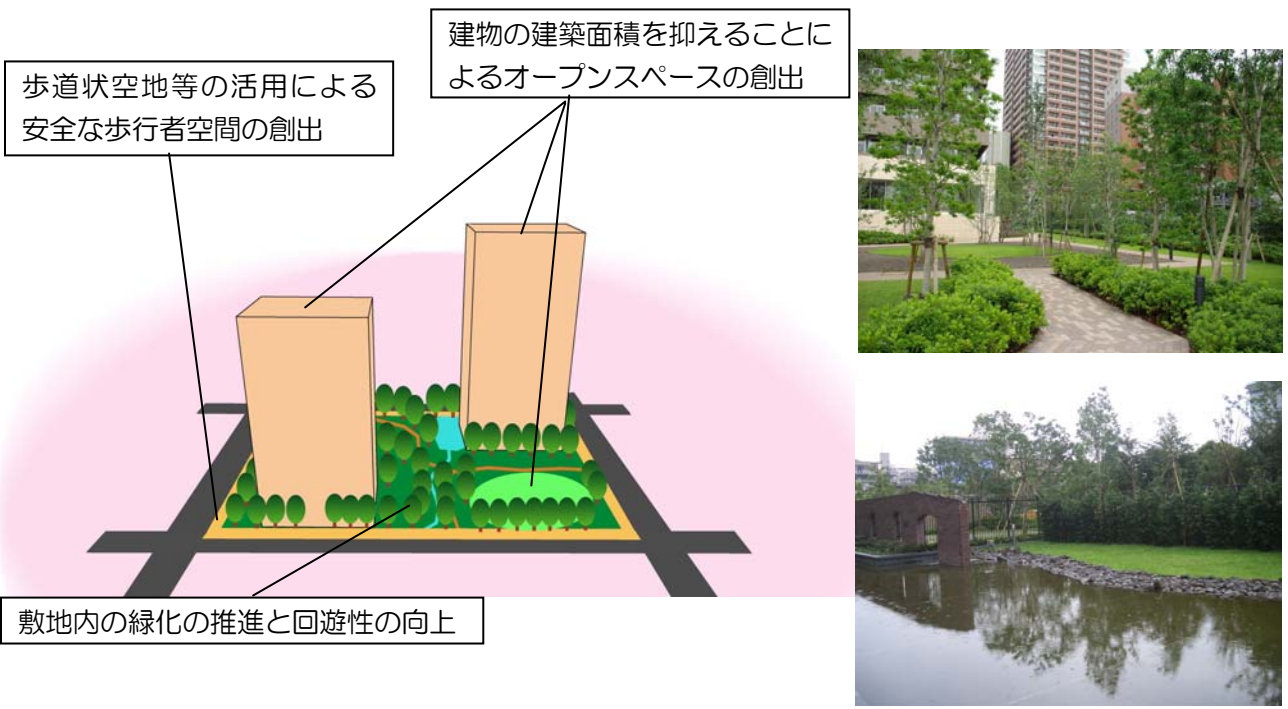
- ・市民主体のまちづくり活動支援
- ・市民、NPO、事業者などとの協働によるエリアマネジメントの推進
- ・地区計画等の活用による官民協働のまちづくり



小杉駅周辺将来都市像



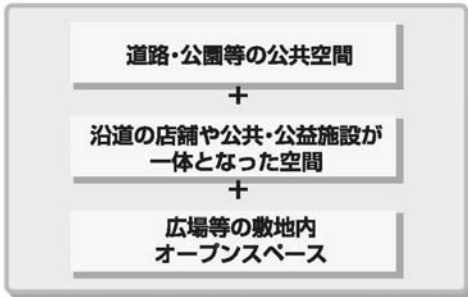
●オープンスペースの創出の考え方



パブリックスペースのイメージ

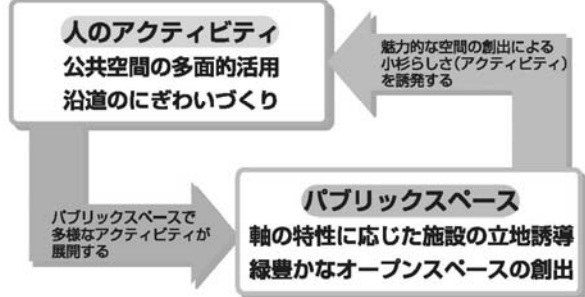
アクティビティを展開する場の創出

● パブリックスペース

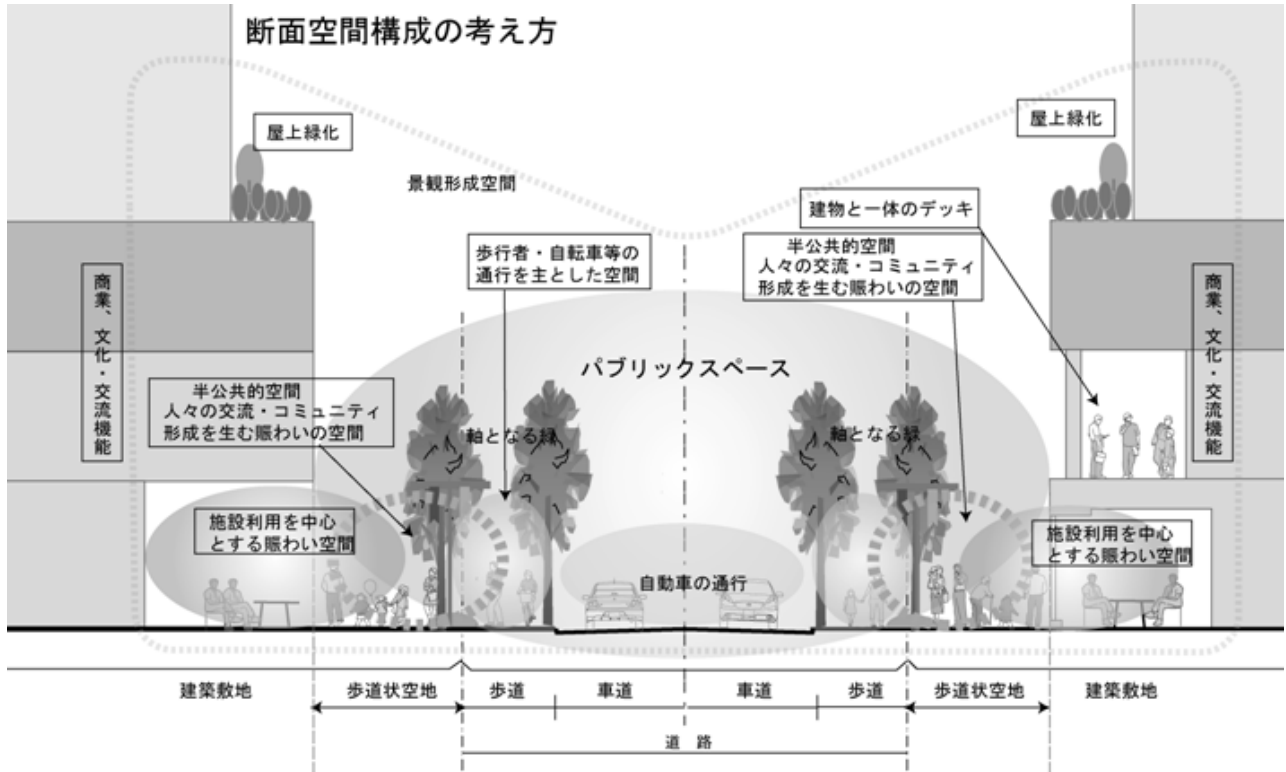


● アクティビティを展開する場

● その空間がストリート文化の情報を発信



断面空間構成の考え方



※本構想で使われている写真はイメージです

■2 将来都市整備方針

■将来都市整備方針

- 地域特性を活かし、等々力緑地や多摩川、二ヶ領用水などの自然環境資源と駅を中心とした商業・業務機能や都市型居住機能など、人々のさまざまな交流といとなみをデザインします。
- まちの骨格となる「核」と「軸」、及び「空間（ゾーン）」づくりを進めることにより、連携型の都市構造の構築をめざします。

◆都市活動の拠点となる核の形成

- ・広域的な都市拠点にふさわしい都市機能の集積
- ・地域資源を活用したアメニティの高い拠点の形成

【交 流 の 核】：広域拠点の玄関口にふさわしいにぎわいのある都市活動拠点

【研究開発とものづくりの核】：研究開発機能との連携・高度化によるものづくり産業拠点

【医療と文教の核】：大学病院を中心に医療、教育、都市型居住、商業が複合した高度医療福祉拠点

【シビックセンター核】：区役所を中心とした市民生活・文化活動拠点

【緑 の 核】：市民の憩いや自然とのふれあいを大切にしたスポーツ・レクリエーション拠点

【地 域 生 活 核】：近隣商業、文化・コミュニティ施設など地域の日常生活拠点

◆拠点核を連携する重層的なネットワークづくり

- ・多様な拠点核を結びつけ、機能分担と相互補完による重層的なネットワークの創造
- ・ユニバーサルデザインの推進

【くらし・にぎわい軸】：まちの顔となる核を連携し、地域交流を可能とするネットワーク軸

【ものづくり軸】：研究開発ゾーンの骨格を形成し、広域拠点の玄関口である交流の核を結ぶ軸

【商業・にぎわい軸】：商業機能や交流機能の集積によるうおいと回遊性のある賑わい軸

【生活軸】：地域生活核や交流の核を結び、地域生活の骨格となる軸

【緑地軸】：等々力緑地、多摩川、二ヶ領用水など、水と緑の拠点をつなぐ軸

【歴史文化軸】：中原街道を中心とした歴史と文化にふれる軸

◆駅を中心に都市機能が複合化した市街地の形成

- ・駅を中心に多機能がコンパクトに集積する市街地の形成
- ・商業・業務、研究開発、居住機能の複合化

【複合的利用ゾーン】：広域的な拠点性の高い商業・業務、サービス、文化、交流、医療・福祉、居住機能が複合した市街地

【研究開発ゾーン】：研究・開発拠点として特化し、先端技術産業の高度化と研究機関機能の更なる集積を図る地区

【都市型居住ゾーン】：優良な都市型住宅と生活サービス、地域交流機能などが立地する地区

くらし・にぎわい軸

- 小杉を代表するシンボル性と豊かなアメニティを有する空間の形成
- 人々の交流、憩いの場、各種イベントによるにぎわいの創出
- 高層部の壁面後退による上空の開放感の創出



ものづくり軸

- 小杉を特徴づける先端技術産業のシンボル軸の形成
- 公園的環境の中に立地する洗練されたデザインの研究施設群
- 緑豊かなオープンスペースで憩う研究者、市民との交流の創出



商業・にぎわい軸

- 通りに面して開放性の高い店舗や人々が交流できる施設を連続的に配置したにぎわいのある街並み形成
- 沿道の店舗等と一体化した歩行者空間の形成
- 高層部の壁面後退による上空の開放感の創出



緑地軸

- 等々力緑地や多摩川へのアクセス空間としてうるおいとにぎわいを演出
- 沿道緑化などの推進による緑のネットワークを形成
- 自転車等の利用状況や沿道状況を勘察した歩行者空間の充実



核及びゾーンの構成イメージ

